

地方公会計制度に基づく町の財政状況

～統一的な基準による財務書類の公表～

地方公会計制度での財務書類については、平成22年度一般会計決算から国が推奨する基準モデルにより財務書類を作成してきました。しかし、複数の基準があったことから、平成27年1月に財務書類の「統一的な基準」が示され、平成29年度までに財務書類の作成が必要となりました。

福島町では、平成27年度決算から「統一的な基準」による財務書類を作成しましたので公表いたします。

○貸借対照表（バランスシート）

「貸借対照表」とは、年度末（平成28年3月31日）において、町がどのような資産を保有しているか、その資産がどのような財源で賄われているかを表しています。

（単位：百万円）

資産の部	金 額	負債の部	金 額
1 固定資産	12,047	1 流動負債	612
(1) 事業用資産	6,001	(1) 未払金など	83
(2) インフラ資産	5,572	(2) 公債（短期）	529
(3) 無形固定資産	35	2 固定負債	5,111
(4) 投資等	439	(1) 公債	4,243
2 流動資産	1,892	(2) 退職給付引当金	852
(1) 資金等	117	(3) その他	16
(2) 未収金	6	負債合計（B）	5,723
(3) 基金	1,769	【純資産の部】	金 額
		純資産合計〔A－B〕	8,216
資産合計（A）	13,939	負債・純資産の合計	13,939

資 産…現在保有している土地や建物の財産や現金など

固定資産…庁舎・学校・道路・公園など

流動資産…現金・預金未収金、財政調整基金

負 債…地方債や退職給付引当金など、将来の世代が負担する債務

純 資 産…資産と負債の差額で、これまでの世代や国・道が負担してきた財産

○行政コスト計算書

「行政コスト計算書」とは、1年間の行政サービスのうち人件費や補助金の給付など資産形成に結びつかない行政サービスに要したコストと、その行政サービスの直接の対価として得られた財源の収益を対比させたものです。

（単位：百万円）

借 方	金 額	貸 方	金 額
1 業務費用	2,144	1 経常収益	157
(1) 人件費（職員給与など）	907	(1) 使用料及び手数料	91
(2) 物件費（消耗品費、維持補修費、減価償却費など）	1,149	(2) その他	66
(3) その他の業務費用（公債利息など）	88	経常収益合計 B	157
2 移転費用（補助金、社会保障関連費など）	1,323	【純行政コスト】	
経常費用合計（総行政コスト）A	3,467	（A－B）	3,310

○純資産変動計算書

「純資産変動計算書」とは、貸借対照表の資産と負債の差額である純資産が1年間にどのような財源や要因で増減しているかを表しています。

（単位：百万円）

科 目 名	合 計	固定資産等形成分	余剰分（不足分）
前年度末純資産残高	8,455	13,573	△5,118
純行政コスト（△）	△3,310		△3,310
財源（町税、地方交付税など）	3,092		3,092
本年度差額	△218		△218
固定資産等の変動（内部変動）		835	△835
無償所管換等	△21	△21	
本年度純資産変動額	△239	814	△1,053
本年度末純資産残高	8,216	14,387	△6,171